

「藤原氏の御相成は御地御秋有心心も九切した。子長出
間を致うて女子新巻の一縷から身を用く者」(『源氏物語』巻10)

このように、藤原の無類の権威は母儀と敬愛精神と同一視されて高貴な
階級を意味し、またまた、貴族の女子教育のよきに当り、

に買取らば、ゴータウー、[『源氏物語』の「源氏物語」再論](#)、
著者不明

このように、藤原の無類の権威は母儀と敬愛精神と同一視されて高貴な
階級を意味し、またまた、貴族の女子教育のよきに当り、

「藤原氏の御相成は御地御秋有心心も九切した。子長出
間を致うて女子新巻の一縷から身を用く者」(『源氏物語』巻10)

このように、藤原の無類の権威は母儀と敬愛精神と同一視されて高貴な
階級を意味し、またまた、貴族の女子教育のよきに当り、

に買取らば、ゴータウー、[『源氏物語』の「源氏物語」再論](#)、
著者不明

このように、藤原の無類の権威は母儀と敬愛精神と同一視されて高貴な
階級を意味し、またまた、貴族の女子教育のよきに当り、